



武庫愛の園幼稚園での学外実習



武庫愛の園幼稚園は建学の精神から「**以愛為園(愛をもって園となす)**」とし、愛の園幼稚園と命名されました。「**知育(あたま)・徳育(こころ)・体育(からだ)・食育(生きる力)**」の4つを教育の柱として、子ども達の育ちを支えています。

武庫愛の園幼稚園の先生方は、子ども達がつまずかないように教えるのではなく、その時に子どもの気持ちを受け止め、どうすれば乗り越えられるのか子ども達が**自ら気付き、主体的に考える力**を身に付けられるようサポートしていると話されました。



濱名先生と福谷先生のお話

法人本部の濱名潔先生のご講義では、保育における「**育ち**」として、例えば日々の**経験**を通して人の事を思いやれる気持ちを育むことを指すことを学びました。保育の立場からのお話を聞いて、幼児や保護者への心理的支援に心理職が**第三者の視点**から現場に加わることが、**新たな視点と起こっている問題の本質**を知ることにつながることを学びました。保育士の福谷先生のお話からは、わらべうたなどの遊びを通じて子どもの**同調性**が高まることを知り、「**遊び**」が子どもの健康的な身体・精神の成長には欠かせないことを再認識しました。また、温かく見守る姿勢の重要性に気付きました。

子ども達の園内での過ごし方を見学し、実際に皆で楽しそうに遊ぶ姿を見ることが出来ました。その他にも、季節に合わせた装飾品や、一日の予定を**視覚的に**理解できるような掲示物など、子どもを思って細部まで先生方が工夫されていることを感じました。また、実習当日は雨天でしたが、**建物内**にある子どもたちに人気のアスレチックを体験することが出来て、とても新鮮な気持ちになりました。



施設について



編集後記

大変お忙しいところ、ご講義いただきました濱名先生、福谷先生、また見学の際に快く迎え入れてくださった先生方、園児の皆さんに心より感謝申し上げます。

作成：野村 写真撮影：阿蘇